



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第90期上半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日）の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

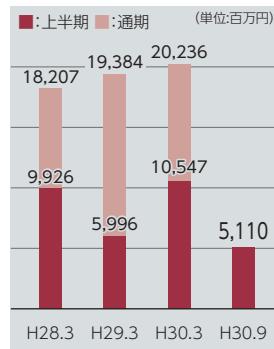
平成30年12月



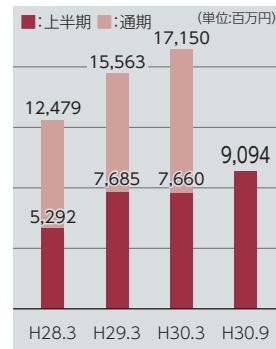
取締役社長 寶角 正明

財務ハイライト

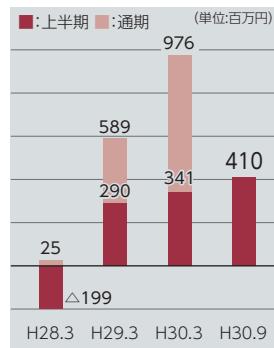
受注高



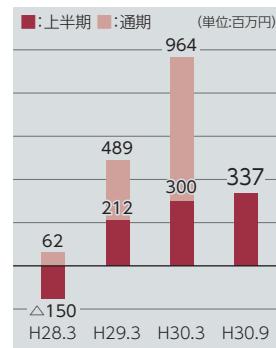
売上高



経常利益又は経常損失(△)



純利益又は純損失(△)



第90期 中間 株主通信

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

 高田機工株式会社

証券コード: 5923

当上半期の事業概況

当上半期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、相次ぐ自然災害の影響や米中貿易摩擦の激化が世界経済に与える影響への懸念等、先行きは不透明な状況となっております。

橋梁事業におきましては、年度初めに高速道路会社から大型案件の発注が続いたこともあり、当上半期の発注量は前年同期を上回りました。鉄構事業では、堅調な鉄骨需要を追い風に、今後も首都圏の大型再開発物件を軸として多くの出件が見込まれます。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では技術提案、積算精度ともにレベルの維持向上に努めましたが、受注を確保できた案件は少なく、当上半期の受注高は、順調だった前年同期の実績を大きく下回る結果となりました。鉄構事業においても、地域、製作時期、採算性等を念頭に受注活動を進めたことで、大型案件の受注を確保できず、低調に推移した前年同期の実績を更に下回る厳しい結果となりました。

損益面につきましては、橋梁事業では手持ち工事が製作・架設ともに順調に推移し原価が低減されたことや、設計変更による契約金額の増額があったことにより利益率の改善が進みました。鉄構事業では、採算が期待できる関西圏の案件が減少したことや、首都圏の案件での進捗停滞等による原価増加などにより採算が悪化する結果となりました。

中間配当金につきましては、1株につき40円とすることを平成30年11月9日開催の取締役会において決議しております。

受注高	51億10百万円 前年同期比 51.5%減	↓
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">橋梁事業</div> <div>47億92百万円 前年同期比51.8%減</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">鉄構事業</div> <div>3億18百万円 前年同期比46.5%減</div> </div>	
売上高	90億94百万円 前年同期比 18.7%増	↑
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">橋梁事業</div> <div>70億03百万円 前年同期比15.2%増</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">鉄構事業</div> <div>20億90百万円 前年同期比32.3%増</div> </div>	
経常利益	4億10百万円 前年同期比20.0%増	↑
純利益	3億37百万円 前年同期比12.1%増	↑

橋梁事業

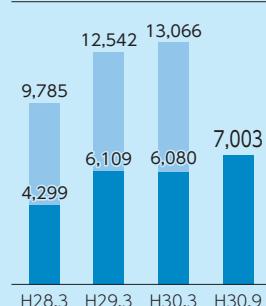
主な売上工事

関東地方整備局・行徳橋、中部地方整備局・飛島大橋左岸、中日本高速道路(株)・向畑高架橋、近畿地方整備局・八代川橋

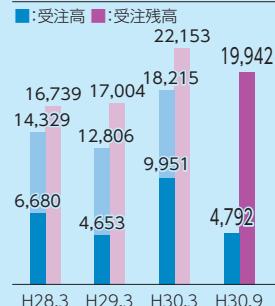
主な受注工事

中部地方整備局・須走3号高架橋、西日本高速道路(株)・南部川橋、近畿地方整備局・忌部地区他鋼製橋脚工事、四国地方整備局・津田高架橋

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

大成建設(株)・豊洲二丁目駅前地区市街地再開発・名港海運(株)西二区物流センター南1号新築工事、川田工業(株)・渋谷駅街区東棟新築工事

主な受注工事

大成建設(株)・武豊火力発電所5号機建築工事

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



会社概要

(平成30年9月30日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 齋角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・群馬・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

株式の状況

(平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,560,000株
発行済株式の総数	2,237,586株
株主数	2,450名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	133	6.06
神吉利郎	100	4.54
新日鐵住金株式会社	100	4.53
JFEスチール株式会社	91	4.15
株式会社奥村組	88	4.03
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	61	2.78
株式会社紀陽銀行	58	2.65
株式会社三井住友銀行	50	2.28
三井住友信託銀行株式会社	50	2.27

(注)持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(34,423株)を控除して算出しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告(http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真

鳥羽川高架橋(岐阜県)
工事名称:平成28年度 東海環状鳥羽川高架橋鋼上部工事
発注者:中部地方整備局
橋梁形式:鋼3径間連続非合成細幅箱桁橋
橋梁諸元:橋長198m 鋼重1,674t

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

